

謝辞

本稿は滋賀県立大学環境科学部環境計画学科環境社会計画専攻における研究成果を学位論文としてまとめたものである。

本研究を遂行するにあたり、終始温かく見守ってくださり、そして適切なご指導をして頂きました滋賀県立大学環境科学部近藤隆二郎助教授に謹んで謝意を表します。研究の方向性や考え方など、同助教授のご指導無くして本論文は上がりませんでした。

査読をして頂きました環境科学部井手慎司助教授には、論理構成や数学的な考え方について貴重なご教示をして頂きありがとうございました。

突然の調査のお願いにも関わらず、快く承諾してくださった、各小学校の校長先生方には厚くお礼申し上げます。また、突然のお邪魔にも関わらず調査に協力して頂きました諸先生方を始めとする小学校関係者のみなさま、本当にありがとうございました。そして、調査に協力してくれた児童のみなさん、ありがとう。私自身にとって貴重な体験となり、とても楽しい調査となりました。

1年間を通じて、研究室のみなさんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

私が、本論文を書き終えることができたのも、また、書き始めることができたのも、『大漁』の作者である金子テル（金子みすゞ）さんのおかげです。あなたが残した作品に触れたことが本論文だけでなく、私自身の生活の糧となりました。

また、私事になりますが、研究室にこもりっきりの私を励ましてくれた友人達には本当に感謝しています。

そして、5年間大学に通わせてくれた両親に心から感謝します。

2003年2月14日

藤岡 誠一

最後に、私が本論文のきっかけとなった初めて出会った詩を引用します。

